



老
智
長
智

李登輝

その4【全5回】

台湾を発展に導いた経験から、リーダーシップの重要性は痛感している。真のリーダーをつくるには、特別な部局を設けて実務経験を積ませることが大事だと、日本に提言する。

では民主主義の中でどうやって指導力を発揮するか。それは課題ではありませんが、指導者は将来への提言、国の将来をはっきり示すことが必要です。

私は小泉元首相は日本の政治を変えたと思っています。一つは根回し型の政治をなくしてしまいました。カネや部下（派閥）を持つ人間と調整するのではなく、意見を言わせて最後には自分で決めた。それまでのリーダーと違っていました。それに総選挙を前に中曽根さんなどの長老を引退させた。世代を交代させた、これも功績です。

リーダーシップを発揮するためには人材の活用も大切です。私の周りでも、新聞人にしても学者にしても立派な人がたくさんいた。しかし、そうした中で有能な人材を無駄にした例がある。それは階級だとか人間関係だとかで浮かび上がらなかったからです。

日本でもそうです。国家発展特別局のような部署をつくって、有能な人間に仕事をさせる。実行力をつけるためにきついことをさせる。そうやってリーダーをつくることです。アメリカもイギリスもリーダーは経験を積ませて育てています。日本のように、単に優秀な成績で東大で1番だったとか、法律ばかり覚えて試験のときだけ強いとかではしようがありません。

有能な人間を特別部局に試験だけに強い人材は無用

日 本では安倍前首相から福田首相に政権が代わりました。

私は、日本が世界第2位の経済大国にふさわしい政治的地位と影響力を持つてほしいと考えています。その点で、安倍前首相が日本版NSC（国家安全保障会議）の設立を目指していたのを評価していました。現在は具体的な動きが進んでいないようですが、首相の下に安全保障の権

限を一元化して強化するのは大切なことです。

日本の政治で欠けているのは強いリーダーシップです。総理と閣僚が別々の意見を平気で言い、内閣はバラバラです。安倍内閣では失言も目立ちました。これでは駄目です。総理の方針に従わない大臣はクビにする、これぐらいの覚悟がないといけません。安倍内閣にはちょっと問題

のある人がいましたね。

昔は、政治指導者が何から何まで決めていたパトロン型で独裁的なこともできましたが、現代は民主主義の時代です。確かに、大きな権力を背景にしていたからこそ、息の長い巨大プロジェクトや重要な政策決定を行うことができたのは事実です。だが今はそれが否定され、しかも権力は分散しています。